1. 日本文学科

日本文学科には、日本文学専攻・日本語学専攻・伝承文学専攻があり、専攻によって専門教育科目の履修方法が異なる。いずれかの専攻を選択し、履修規程に基づいて単位を修得する。また、各専攻に属しながら、日本語教育・国語教育・書道・表現文化の各領域科目も適宜履修できる。

【各専攻について】

日本文学専攻

古代から近現代にいたる各時代の主要な作品・作家に触れて、全体の流れをつかむとともに、個々の作品について集中的に研究することにより、日本人の心情や生活の意義・特質を明らかにすることを目標とする。

日本語学専攻

日本語の、古代から現代にわたる音韻・音声・文字・語彙・文法・方言などについて多様な形態で伝わる文献資料はもとより現代日本語の動態に至るまで広く対象として研究し、日本語の有する法則的事実を科学的に明らかにすることを目標とする。

伝承文学専攻

日本文化の総合的・体系的理解には、文字表現に加え、言葉や行為、感覚、さらに造形等によって受け継がれてきた伝承文化への認識が必要となる。具体的には、昔話や伝説、儀礼、芸能、衣食住など多岐にわたる文化で、これらの実態や特質について民俗学や口承文芸学、民俗芸能学等の視点から学修、究明することを目標とする。

【各領域について】

上記3専攻とは別に、以下4つの領域科目を設定している。3専攻のいずれかに属しつつ、目的に応じて以下の領域科目を履修することができる。

日本語教育学領域

日本語学習者の多様なニーズに応じた支援のための教授法を教材・学習者・言語にわたって幅広く研究する。さらに、日本語教育実習を通じて日本語教師としての資質と能力を養うことを目標とする。専門的に日本語教育学を学ぶことで、大学院の高度日本語教育コースへと展開させることが可能となる。

国語教育学領域

国語教育学の理論と実践及び教育方法学の基礎を学ぶことで、教職課程の学修を一層深めるとともに、 大学院の高度国語教育コースへの接続と展開を可能にする。

書道領域

楷書・行書・草書・隷書・篆書(篆刻を含む)・仮名などの実技実習と、書道史・書論などの書学書道 史学の視点からの学修を通して、書の世界を実践的に学ぶとともに、体系ある学問としての書道を探究し てゆくことを目標とする。

表現文化領域

散文表現、韻文表現、文字表現、身体表現などの表現方法を学修対象として、表現の可能性を追究して ゆくことを目的とする。表現のありようを実践的に学ぶことによって、表現や創作また出版・放送などに 携わることのできる人材の育成を目指す。

【卒業論文について】

卒業論文の指導教員は、3年次前期に学科が定める手続きを経て確定する。その後、各教員の指導に従って作成に向けて準備、作業を行い、4年次の12月に提出する。

【カリキュラムの構成と履修方法】

- 1. 専門教育科目の専攻が分かれるのは2年次からであるが、専攻の選択は1年次後期に行い、2年次前期の履修登録の際に登録を行う。原則として、それ以降の専攻の変更は認めない。ただし、3年次前期の履修登録時において変更の希望があった場合には、教務委員が検討する。
- 2. 専攻外演習科目である「日本語教育学演習 I A~ II B」「言語学演習 I II 」「国語教育学演習 I II 」「書道演習 I II 」「表現文化演習 I II 」を修得した場合、その修得単位は各自の選択した専攻の専攻演習科目の単位として認定される。
- 3. 「日本文学演習 I ~Ⅲ」「日本語学演習 I ~Ⅲ」「伝承文学演習 I ~Ⅳ」「日本語教育学演習 I ~Ⅱ」「書道実習 I ~Ⅳ」については、A・B が連動している。従って原則として、A・B は同一指導教員の授業を、同一の年度内に履修することとする。「基礎日本古典語」「書道」「言語学演習」「国語教育学

演習」「書道演習」「表現文化演習」については、 $I \cdot II$ が連動している。従って原則として、 $I \cdot II$ は同一指導教員の授業を、同一の年度内に履修することとする。

4. 各自が選択した専攻の演習を 4 年次に 2 科目以上(上記 3 の A+B、若しくは I + Ⅱ以上)履修のうえ、単位を修得しなければならない。ただし、上記 2 に従って、専攻外演習科目のいずれかの科目で代替することができる。

科目	区分	履修方法	単位数	
	学科基礎科目	必修	14 単位	
	専攻基礎科目	選択必修	12 単位以上	
学科基幹科目	専門基礎科目	選択		
	専攻演習科目	選択必修	12 単位以上	
	専攻外演習科目	選択		
卒業論文		必修	8 単位	
展開科目	選択Ⅰ~Ⅷ類	選択必修	10 光华 7 上	
関連科目		送机化修	18 単位以上	
合計		64 単位	立以上	

乖	4目	授業科目	目目⇒蛛	単位	開講学年				履修方法	
	区分		開講	中江	1	2	3	4	腹 尼刀 <i>伍</i>	
		日本文学概説 I	半期	2	0					
	学	日本文学概説Ⅱ	半期	2	0					
	科 基	日本語学概説 I	半期	2	0					
	礎	日本語学概説Ⅱ	半期	2	0				14単位必修	
	科	伝承文学概説 I	半期	2	0					
	目	伝承文学概説Ⅱ	半期	2	0					
		漢文学概説	半期	2	0					
	専	日本文学講読 I	半期	2		0				
		日本文学講読Ⅱ	半期	2		0			日本文学専攻選択者は「日本文学講読Ⅰ・Ⅱ」 日本語学専攻選択者は「日本語学講読Ⅰ・Ⅱ	
	攻	日本語学講読 I	半期	2		0			日本語子等攻選択者は「日本語子講就 I・Ⅱ] 伝承文学専攻選択者は「伝承文学講読 I ・ Ⅱ]	
	基	日本語学講読Ⅱ	半期	2		0				
	礎	伝承文学講読 I	半期	2		0			及び、他の「講読Ⅰ・Ⅱ」の組合せを2組4科目	
	科目	伝承文学講読Ⅱ	半期	2		0			計3組6科目12単位以上選択必修 	
	I	漢文学講読 I	半期	2		0			超過単位は展開科目へ算入	
		漢文学講読Ⅱ	半期	2		0				
		基礎日本古典語 I	半期	2						
	専	基礎日本古典語Ⅱ	半期	2)				
	門	基礎漢文学	半期	2	0				「基礎日本古典語」「書道」Ⅰ・Ⅱは、	
	基礎	影印講読	半期	2	0				原則として同一教員の授業を継続して履修すること。	
	曜	書道 I	半期	2	0				│ │修得単位は展開科目へ算入	
	目:	書道Ⅱ	半期	2	0					
-		書道概論	半期	2	0					
		日本文学演習 I A 半期 2 ○								
		日本文学演習 I B	半期	2		0				
		日本文学演習ⅡA	半期	2			(
学		日本文学演習ⅡB	半期	2			(
科基		日本文学演習ⅢA	半期	2				 D		
幹		日本文学演習ⅢB	半期	2			(D	」 日本文学専攻選択者は「日本文学演習ⅠA~ⅢB」	
科		日本語学演習IA	半期	2		0		<u> </u>	日本語学専攻選択者は「日本語学演習ⅠA~ⅢB」	
目		日本語学演習IB	半期	2		0			伝承文学専攻選択者は「伝承文学演習 I A~IVB」 の中から8単位を含め、計12単位以上選択必修	
	専	日本語学演習ⅡA	半期	2			(\mathcal{C}	07年から0年世を占め、前12年世以上選択必修	
	攻 演	日本語学演習ⅡB	半期	2))	超過単位は展開科目へ算入	
	習	日本語学演習ⅢA	半期	2				<u> </u>		
	科	日本語学演習ⅢB	半期	2				<u> </u>	なお、選択した専攻の演習を4年次に2科目以上履修のうえ、単位 を修得しなければならないが、専攻外演習科目のいずれかの科目	
	目	伝承文学演習 I A	半期	2		0			で代替することができる。	
		伝承文字演習 I B	半期	2		0				
		伝承文字演習ⅡA	半期	2			(\Box	各演習のA・Bの組み合わせについては、原則として同一の教員の 授業を継続して履修すること。	
		伝承文字演習ⅡB	半期	2))	火木 とががルレ へ及じり がんこ。	
		伝承文字演習ⅢA	半期	2				<u>)</u>)		
		伝承文字演習ⅢB	半期	2))		
			+	2				<u>)</u>)		
		伝承文学演習IVA	半期	2				<u>)</u>)		
		伝承文学演習IVB	半期					<u>)</u>)		
		日本語教育学演習IA	半期	2						
		日本語教育学演習IB	半期	2				<u>C</u>		
		日本語教育学演習ⅡA	半期	2				<u>C</u>		
	専	日本語教育学演習ⅡB	半期	2				<u>C</u>	修得単位は、選択した専攻の専攻演習科目へ算入(超過単位は展	
	41	言語学演習I	半期	2				<u>C</u>	開科目へ算入)	
	演	言語学演習Ⅱ	半期	2				<u>C</u>	- 「日本語教育学演習Ⅰ・Ⅱ」のA・Bの組み合わせについては、原	
	習	国語教育学演習I	半期	2				<u> </u>	則として同一教員の授業を履修すること。他の演習の I・Ⅱの組	
		国語教育学演習Ⅱ	半期	2				<u>C</u>	み合わせについては、原則として同一科目を継続して履修するこ	
	目	書道演習 I	半期	2				<u>C</u>	<u></u>	
		書道演習Ⅱ	半期	2				O		
		表現文化演習 I	半期	2				C		
		表現文化演習Ⅱ	半期	2)		
卒業	(論文		通年	8			(\sim	必 修	

(次ページに続く)

禾	斗目	12.314.47 日	BB 544	224 t.L.		開講	学年		ER bir ⊥ ∨I.
	玄分	授業科目	開講	単位	1	2	3	4	履修方法
		日本文学史 I	半期	2		0			
		日本文学史Ⅱ	半期	2		0			
		日本時代文学史 I	半期	2			(\supset	
		日本時代文学史Ⅱ	半期	2			()	
		日本古典芸能文化論 I	半期	2			0		
		日本古典芸能文化論Ⅱ	半期	2			0		
		東アジア芸能文化論 I	半期	2			0		
		東アジア芸能文化論Ⅱ	半期	2			0		
		日本上代文学研究 I	半期	2		0			
		日本上代文学研究Ⅱ	半期	2		0			
	日	日本中古文学研究 I	半期	2		0			
	本	日本中古文学研究Ⅱ	半期	2		0			
	文学	日本中世文学研究 I	半期	2))	
	科	日本中世文学研究Ⅱ	半期	2				C	
	目	日本近世文学研究 I	半期	2				C	
	群	日本近世文学研究Ⅱ	半期	2			()	
	選	日本近現代文学研究 I	半期	2		0			
	択	日本近現代文学研究Ⅱ	半期	2		0			
	I 類	日本近現代文学研究Ⅲ	半期	2))	
	大只	日本近現代文学研究IV	半期	2			()	
		日本文学各論 I	半期	2			0		
		日本文学各論Ⅱ	半期	2			0		
展		日本古典文学特殊研究 I	半期	2)	
開		日本古典文学特殊研究Ⅱ	半期	2)	展開科目(選択I~VII類)と関連科目の中から
科目		日本近現代文学特殊研究 I	半期	2)	18単位以上選択必修
		日本近現代文学特殊研究Ⅱ	半期	2)	
		東アジア比較文学I	半期	2			0		
		東アジア比較文学Ⅱ	半期	2			0		
		文献情報処理 I	半期	2			0		
		文献情報処理Ⅱ	半期	2			0		
		日本語史I	半期	2		0			
		日本語史Ⅱ	半期	2		0	_		
		日本語学史I	半期	2		ļ	0		
		日本語学史Ⅱ	半期	2		_	0		
	Ħ	言語学概論I	半期	2		0			
	本	言語学概論Ⅱ	半期	2		0	_		
	語学	日本語音声学I	半期	2			0		
	科	日本語音声学Ⅱ	半期	2			0		
	目	古代日本語文法I	半期	2			0		
	群	古代日本語文法Ⅱ	半期	2			0		
	選	現代日本語文法Ⅰ	半期	2		0			
	択	現代日本語文法Ⅱ	半期	2		0			
	Ⅱ 類	現代日本語研究I	半期	2			0		
	/354	現代日本語研究Ⅱ	半期	2			0		
		日本語学各論I	半期	2			0		
		日本語学各論Ⅱ	半期	2			0		
		言語学特殊研究 I	半期	2			0		
	<u> </u>	言語学特殊研究Ⅱ	半期	2			0		(かべいこうに生く)

(次ページに続く)

禾	<u> </u>		nn -44	W. CL		開講	学年		E to Livi
	Z分	授業科目	開講	単位	1	2	3	4	- 履修方法
		民俗学史I	半期	2		0			
		民俗学史Ⅱ	半期	2		0			
		伝承文学史 I	半期	2			0		
		伝承文学史Ⅱ	半期	2			0		
		日本民俗学 I	半期	2			0		
		日本民俗学Ⅱ	半期	2			0		
		口承文芸研究 I	半期	2			0		
		口承文芸研究Ⅱ	半期	2			0		
	伝	儀礼文化論 I	半期	2			0		
	承	儀礼文化論Ⅱ	半期	2			0		
	文学	伝承文学研究 I	半期	2		0			
	科	伝承文学研究Ⅱ	半期	2		0			
	目	伝承文化研究 I	半期	2		0			
	群	伝承文化研究Ⅱ	半期	2		0			
	選	民俗文化財論 I	半期	2)	
		民俗文化財論Ⅱ	半期	2				<u>C</u>	_
	Ⅲ 類	民俗芸能論 I	半期	2				<u>C</u>	
	754	民俗芸能論Ⅱ	半期	2				<u> </u>	
		比較口承文芸論I	半期	2				<u>C</u>	_
		比較口承文芸論Ⅱ	半期	2				<u>C</u>	_
		伝承文学思想	半期	2				<u>C</u>	_
		民俗研究思想	半期	2				<u>C</u>	
		現代文化論	半期	2				<u> </u>	_
		映像文化論	半期	2)	
		比較民俗研究I	半期	2			0		_
展		比較民俗研究Ⅱ	半期	2			0		
開科	日本語教育	日本語教授法I	半期	2		0			展開科目(選択Ⅰ~Ⅵ類)と関連科目の中から 18単位以上選択必修
目		日本語教授法Ⅱ	半期	2		0			10年位从上进价必修
		日本語教育研究 I	半期	2			0		_
	類学	日本語教育研究Ⅱ	半期	2			0		-
	領域	日本語教育実習 I 日本語教育実習 II	集中	1			0		-
		日本語教育美智 II 国語教育学概論 I	集中	2			0		-
	国	国語教育学概論Ⅱ	半期半期	2			0		-
	選教	国語教月子(Wim II	半期	2					-
	火育 V	国語教育実践研究 I 国語教育実践研究 II 古典教育研究 I	半期	2			0		-
	類領	型面欲月天成伽九Ⅱ 十曲数容延宏 I	半期	2			0		-
	域	古典教育研究Ⅱ	半期	2			0		-
		日本書道史I	半期	2			0		-
		日本書道史Ⅱ	半期	2			0		-
		中国書道史I	半期	2		0			-
		中国書道史Ⅱ	半期	2		0			-
		書道実習IA	半期	1		0			-
	書道	書道実習 I B	半期	1		0			-
	損	書道実習ⅡA	半期	1)		-
	域	書道実習ⅡB	半期	1)		-
)22.	書道実習ⅢA	半期	1			0		-
	選択	書道実習ⅢB	半期	1			0		-
	VI	書道実習IVA	半期	1)	-
	類	書道実習IVB	半期	1))	-
		書論研究	半期	2			0		1
		古筆学	半期	2			0		1
		<u>\$</u>	半期	2			0		1
		隷書法	半期	2			0		-
Ь			1 /91			1		1	(次ページに続く)

(次ページに続く)

	斗目	授業科目	运 案到日	開講	単位		開講	学年		履修方法
▷	区分		川川明	中亚	1	2	3	4	限 [E刀 伝	
		出版文化論 I	半期	2			0			
		出版文化論Ⅱ	半期	2			0			
	表	放送文化論 I	半期	2			0			
	表現文	放送文化論Ⅱ	半期	2			0			
展	化	表現文化論 I	半期	2		0				
開科	領域	表現文化論Ⅱ	半期	2		0			展開科目(選択I~VII類)と関連科目の中から	
科	坝	身体表現文化論 I	半期	2			0		18単位以上選択必修	
目	選	身体表現文化論Ⅱ	半期	2			0			
	択 VII 類	文字表現文化論 I	半期	2						
		文字表現文化論Ⅱ	半期	2)		
		書誌学I	半期	2)		
		書誌学Ⅱ	半期	2)		
		史料講読 I	半期	2			0			
		史料講読Ⅱ	半期	2			0			
		中国学入門	半期	2	0					
	関	中国文学通史	半期	2		0				
	連 科	中国古典読法基礎	半期	2	0				修得単位は展開科目へ算入	
	関 連 科 目	中国文学基礎 I	半期	2		0				
		中国文学基礎Ⅱ	半期	2		0				
		中国原典研究 I	半期	2)		
		中国原典研究Ⅱ	半期	2)	

[○]で示す開講学年で履修することが望ましい。ただし、履修学年に制限がない限り、当該学年以降でも履修することができる。